



## 2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月9日

上場会社名 扶桑電通株式会社

上場取引所 東

コード番号 7505

URL https://www.fusodentsu.co.jp/

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）有 富 英 治

問合せ先責任者（役職名）コーポレートイノベーション本部長代理（氏名）下 山 万 里 子（TEL）03(3544)7211  
兼 経営企画室長

半期報告書提出予定日 2025年5月12日 配当支払開始予定日 2025年6月9日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	27,971	5.1	2,073	14.8	2,179	15.4	1,510	17.5
2024年9月期中間期	26,604	13.5	1,805	34.9	1,888	33.5	1,285	30.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	260.65	—
2024年9月期中間期	222.63	—

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	36,135	13,615	37.7
2024年9月期	29,674	12,528	42.2

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 13,615百万円 2024年9月期 12,528百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	10.00	—	78.00	88.00
2025年9月期	—	15.00			
2025年9月期（予想）			—	82.00	97.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※ 2024年9月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭、特別配当68円00銭

## 3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	1.5	1,870	0.2	2,070	0.5	1,400	△2.0	241.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	6,960,980株	2024年9月期	6,960,980株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	1,154,541株	2024年9月期	1,169,881株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	5,796,725株	2024年9月期中間期	5,774,720株

※期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業の堅調な設備投資やインバウンド需要などに伴い、緩やかな回復の動きが続いていますが、物価動向や米国の関税政策、地政学リスクなどから、依然として注視が必要な状況が続くと見込まれております。

当社が位置するICT業界においては、業務効率化や生産性向上を目的としたシステム投資、デジタル技術の活用によりビジネスモデルを変革するDX関連投資などを中心に堅調な推移が見込まれていますが、米国の関税政策の動向に伴う設備投資計画の変更や延期などから下振れのリスクも予想されています。

このような環境の中、当社は、2025年9月期より2027年9月期を対象とした第3期中期経営計画「FuSodentsu Vision 2027～ココロ躍る未来に向かって Challenge DX Movement～」を策定いたしました。事業を成長させる戦略として業種区分を基軸とした価値提供を推進するとともに、経営基盤の強化により事業・経営基盤の両面から持続的成長に努めております。

当中間会計期間の受注高につきましては、電力および民需向けパソコン・ソフトウェア販売やヘルスケアビジネスが好調に推移したことにより、28,362百万円(前年同期比19.8%増)となりました。売上高につきましては、ヘルスケアビジネスや民需向けパソコン・ソフトウェア販売などが好調に推移したことから27,971百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

部門別の売上高につきましては、

ネットワーク部門	8,814百万円	(前年同期比	5.4%減)
ソリューション部門	8,389百万円	(前年同期比	14.6%増)
オフィス部門	4,967百万円	(前年同期比	6.3%増)
サービス部門	5,799百万円	(前年同期比	9.6%増)

となりました。

利益につきましては、売上高の増加に加え粗利益率も改善したことから、

営業利益	2,073百万円	(前年同期比	14.8%増)
経常利益	2,179百万円	(前年同期比	15.4%増)
中間純利益	1,510百万円	(前年同期比	17.5%増)

となりました。

<当社の四半期業績の特性について>

当社の売上高は、お客様の決算期が3月に集中していることに伴い季節的変動があり、第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における総資産は、36,135百万円となり、前事業年度末に比べ6,460百万円増加となりました。主な増加理由といたしましては、受取手形、売掛金及び契約資産が6,119百万円および投資有価証券が386百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、22,519百万円となり、前事業年度末に比べ5,372百万円増加となりました。主な増加理由といたしましては、支払手形及び買掛金が4,825百万円および未払法人税等が289百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、13,615百万円となり、前事業年度末に比べ1,087百万円増加となりました。主な増加理由といたしましては、中間純利益の計上によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物の中間期末残高は、前事業年度末に比べ427百万円増加し、6,740百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動で得た資金は、950百万円(前年同期は得た資金425百万円)となりました。主な要因は、売上債権及び契約資産が6,033百万円増加したものの、中間純利益1,510百万円の計上と仕入債務の4,825百万円増加によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動で使用した資金は、44百万円(前年同期は使用した資金391百万円)となりました。主な要因は、有価証券および投資有価証券の償還により800百万円の収入があったものの、投資有価証券の取得による600百万円、子会社株式の取得による125百万円および固定資産の取得による103百万円の支出によるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動で使用した資金は、478百万円(前年同期は使用した資金301百万円)となりました。主な要因は、配当金の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想および配当予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年11月11日に公表いたしました業績予想および期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年5月9日)公表の「2025年9月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,767,643	6,211,888
受取手形、売掛金及び契約資産	9,600,864	15,720,389
有価証券	1,600,000	1,100,000
商品	4,563	379
仕掛品	1,749,622	1,604,697
その他	1,165,217	1,119,597
貸倒引当金	△19,223	△31,465
流動資産合計	19,868,688	25,725,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,202,752	1,209,219
減価償却累計額	△872,040	△883,931
建物及び構築物(純額)	330,711	325,288
土地	188,725	188,725
その他	1,014,420	1,062,645
減価償却累計額	△794,571	△838,280
その他(純額)	219,849	224,365
有形固定資産合計	739,285	738,379
無形固定資産		
ソフトウェア	182,365	200,463
その他	22,131	22,131
無形固定資産合計	204,496	222,595
投資その他の資産		
投資有価証券	7,217,184	7,603,236
リース投資資産	754,391	848,415
差入保証金	358,659	364,149
繰延税金資産	420,762	368,470
その他	128,514	281,830
貸倒引当金	△17,450	△17,450
投資その他の資産合計	8,862,061	9,448,652
固定資産合計	9,805,844	10,409,627
資産合計	29,674,533	36,135,113

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,035,540	13,860,857
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	433,077	722,621
契約負債	840,916	926,848
賞与引当金	912,578	889,661
受注損失引当金	—	221
その他	1,642,829	1,852,807
流動負債合計	13,164,942	18,553,017
固定負債		
長期末払金	12,940	—
退職給付引当金	2,927,834	2,821,095
株式給付引当金	252,083	269,474
リース債務	787,603	874,728
その他	1,000	1,000
固定負債合計	3,981,462	3,966,297
負債合計	17,146,405	22,519,314
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,083,500	1,083,500
資本剰余金	1,216,448	1,225,421
利益剰余金	8,713,647	9,751,339
自己株式	△634,949	△625,754
株主資本合計	10,378,646	11,434,506
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,149,481	2,181,292
評価・換算差額等合計	2,149,481	2,181,292
純資産合計	12,528,128	13,615,799
負債純資産合計	29,674,533	36,135,113

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	26,604,235	27,971,224
売上原価	21,623,748	22,516,843
売上総利益	4,980,486	5,454,381
販売費及び一般管理費	3,175,139	3,381,144
営業利益	1,805,347	2,073,236
営業外収益		
受取利息	4,381	17,500
受取配当金	66,484	75,101
仕入割引	1,130	1,414
貸倒引当金戻入額	121	—
その他	11,903	13,866
営業外収益合計	84,022	107,882
営業外費用		
支払利息	300	645
その他	718	675
営業外費用合計	1,018	1,320
経常利益	1,888,351	2,179,798
税引前中間純利益	1,888,351	2,179,798
法人税、住民税及び事業税	592,450	670,336
法人税等調整額	10,253	△1,502
法人税等合計	602,703	668,833
中間純利益	1,285,647	1,510,964

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	1,888,351	2,179,798
減価償却費	99,743	100,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,979	12,242
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,961	△22,917
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	221
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△60,368	△106,739
株式給付引当金の増減額(△は減少)	22,882	23,008
受取利息及び受取配当金	△70,866	△92,602
支払利息	300	645
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△5,798,622	△6,033,592
棚卸資産の増減額(△は増加)	437,108	149,109
仕入債務の増減額(△は減少)	3,983,034	4,825,316
未払消費税等の増減額(△は減少)	66,336	137,148
破産更生債権等の増減額(△は増加)	4,119	—
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(△は減少)	△6,557	—
その他	138,615	80,305
小計	696,095	1,252,269
利息及び配当金の受取額	70,711	90,074
利息の支払額	△300	△645
法人税等の支払額	△341,407	△391,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	425,099	950,105
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	—	500,000
投資有価証券の取得による支出	△300,536	△600,445
投資有価証券の償還による収入	—	300,000
子会社株式の取得による支出	—	△125,451
有形固定資産の取得による支出	△42,510	△29,388
無形固定資産の取得による支出	△31,490	△73,700
敷金の差入による支出	△6,541	△8,549
敷金の回収による収入	573	1,863
ゴルフ会員権の取得による支出	△4,711	△1,713
その他	△6,407	△7,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,624	△44,444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△115	△102
配当金の支払額	△296,973	△471,424
その他	△4,520	△6,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301,610	△478,428
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△268,134	427,233
現金及び現金同等物の期首残高	6,311,979	6,312,907
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,043,844	6,740,141

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間会計期間の期首から適用しております。

なお、これによる中間財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

当社は、情報通信機器の施工、オフィス機器の販売、システムソフト開発およびこれらに関連するサポートサービスの単一事業を営んでいるため、記載を省略しております。